

# 豊能医療圏 がん医療ネットワーク協議会 活動報告

[平成31年(2019年)3月13日 大阪府がん診療連携協議会 資料]

市立豊中病院

大阪大学医学部附属病院

# 組 織 図

豊能医療圏がん医療ネットワーク協議会

がん登録部会

緩和ケア部会

がん検診情報部会

がん地域連携部会

がん研究部会

## 【参加団体】

- ◆医師会
- ◆保健所
- ◆市町がん検診担当課
- ◆ホスピス・在宅診療所
- ◆がん診療(連携)拠点病院

# がん登録部会

## 〔平成30年度(2018年度)活動報告〕

### 1. 大腸がんの院内がん登録データを用いた現状分析

#### ➤ 年齢階級別・発見経緯割合:

35歳からの特定検診項目に便潜血検査が含まれることや、40歳から市町の大腸がん検診が開始されることから、30代・40代の検診での発見割合が増えている。

#### ➤ ステージ別・発見経緯割合:

Ⅱ期より症状受診発見割合が増えており、Ⅱ期になると何らかの自覚症状があると推察される。

# がん登録部会

## 〔平成30年度（2018年度）活動報告〕

### 1. 大腸がんの院内がん登録データを用いた現状分析

#### ➤ 施設別・臨床ステージ割合:

院内がん登録ルールにおいて、がんを疑わずポリープ等でEMRを行った場合の臨床分類はTXとし、術中にがんと診断している場合のみTとなる。術中がんと診断された際に漏れなく記載がされているかどうかにより「不明」の割合に施設間の差が出ており、「不明」には0期でEMRを行った症例が多く含まれていると推察される。

### 2. 院内がん登録の精度管理

# がん登録部会

## 〔平成31年度(2019年度)活動目標〕

1. 乳がんの院内がん登録データを用いた現状分析
2. 院内がん登録の精度管理

# 緩和ケア部会

## 〔平成30年度(2018年度)活動報告〕

### 1. 緩和ケアにかかる地域医療機関との連携強化

- 診療情報提供書や看護サマリーには記載がないが、受け手側が必要と考える情報のみを集約した「地域連携情報シート」を作成
- 地域連携を目的とした研修や会合等へ相互参加
- 次年度より部会への訪問看護師の参加

# 「地域連携情報シート」

<b>地域連携情報シート Ver.1</b> (リレーシート)			患者氏名			記載日			年	月	日	
病名			生年 月日	年	月	日	才	性別:	記載者	医師	看護師	MSW
現時点で予測される予後			<input type="checkbox"/> 日単位 <input type="checkbox"/> 週単位 <input type="checkbox"/> 1-3ヶ月 <input type="checkbox"/> 3-6ヶ月 <input type="checkbox"/> 6ヶ月以上 <input type="checkbox"/> ( )									
急変リスクの見込み			<input type="checkbox"/> 低～中等度 ⇒ (具体的に) <input type="checkbox"/> 出血 <input type="checkbox"/> 穿孔 <input type="checkbox"/> 誤嚥 <input type="checkbox"/> 血栓症 <input type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> その他 ( )									
予後説明 (時期・伝えた相手・内容)			<input type="checkbox"/> 予後については知らせていない <input type="checkbox"/> ( ) 頃)に( )に対し( )と伝えた									
病状・予後説明の特記事項 (患者に悪い説明をしない等)												
症状緩和における注意点 (もしあれば)			・効果が乏しかった薬剤( ) ・副作用が強かった薬剤( ) ⇒副作用の内容( ) ・その他( )									
*ここから上の太枠内は医師が記載してください。												
定期内服薬の情報、血液検査(数回分、時系列で)、画像のCD・読影所見を添付して下さい										<input type="checkbox"/> 診療情報提供書参照		
起居動作			<input type="checkbox"/> 自力歩行可能 <input type="checkbox"/> 介助歩行可能 <input type="checkbox"/> ベッド上臥床 <input type="checkbox"/> ( )									
食事量			( ) 割程度									
医療処置			<input type="checkbox"/> 末梢静脈点滴 <input type="checkbox"/> CVポート <input type="checkbox"/> 月1回の注射 <input type="checkbox"/> 持続皮下注射 <input type="checkbox"/> インスリン <input type="checkbox"/> 外瘻チューブ <input type="checkbox"/> 尿道カテーテル <input type="checkbox"/> 在宅酸素 <input type="checkbox"/> 人工肛門 <input type="checkbox"/> 褥瘡 <input type="checkbox"/> 創処置 <input type="checkbox"/> 気管切開 <input type="checkbox"/> 吸引 <input type="checkbox"/> 胃ろう <input type="checkbox"/> その他( ) *点滴・注射の内容( ) <input type="checkbox"/> 別紙参照									

# 「地域連携情報シート」

現在の苦痛・症状	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有( )
現在の状況	<input type="checkbox"/> 入院中(退院予定日 ) <input type="checkbox"/> 通院中⇒今後の通院予定 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有
同居家族	<input type="checkbox"/> 独居 <input type="checkbox"/> ( ) 人暮らし:同居家族; )
訪問看護	( ) 訪問看護ステーション
ケアマネージャー	( ) 担当者: ( )
在宅担当医	( ) ( ) 医師
外来主治医	(診療科: ) ( ) 医師
緊急時の入院受け入れ	<input type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 不可 <input type="checkbox"/> 条件付で可(具体的内容: )
医療保険	<input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 公費助成( )
介護保険	<input type="checkbox"/> 認定有( ) <input type="checkbox"/> 申請中(区分変更含む)⇒認定調査日: <input type="checkbox"/> 未申請⇒理由:
看取りの場所の希望 (複数選択可)	<input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> 自宅 <input type="checkbox"/> ( ) 病完 <input type="checkbox"/> ( ) <input type="checkbox"/> ホスピス/緩和ケア病棟( ) 病完 ⇒相談日: <input type="checkbox"/> 未調整
状態悪化時の対応(希望)	<input type="checkbox"/> 入院希望無し <input type="checkbox"/> 入院希望あり⇒( ) 病完 <input type="checkbox"/> 不明
備考 (本人の思いや希望を含む) <input type="checkbox"/> 別紙参照	
発言元	〒 FAX 担当:
TEL	

# 緩和ケア部会

## 〔平成30年度(2018年度)活動報告〕

### 2. 緩和ケア(PEACE)研修会の受講促進

圏域内の各拠点病院の受講対象者数、定員、目標達成に向けた取り組みについて集約して共有

### 3. 緩和ケアの普及促進 ～医療従事者向けの研修～

緩和ケアに係る医療者向けの研修会を各病院で開催し、情報共有(一部には大阪府補助事業を活用)

市立豊中病院 緩和ケア勉強会

講演「地域連携で実現する心不全の緩和ケア」

兵庫県立姫路循環器病センター 循環器内科医長 大石醒悟先生

緩和ケアチーム医療研修報告会

9施設、医師・薬剤師・看護師・栄養士・MSW・SW・事務職員 33名が参加

### 4. 患者及び家族が心の悩みや体験等を語り合う場の提供 各拠点病院で開催するがんサロンの開催一覧を更新

# 緩和ケア部会

## 〔平成31年度(2019年度)活動目標〕

### 1. 緩和ケアにかかる地域医療機関との連携強化

- 地域連携情報シートの運用

### 2. 緩和ケアの普及促進

- 緩和ケアにかかる地域連携を目的とした研修や会合等への相互参加
- 医療従事者の資質向上に繋がる交流会の企画立案

# がん検診情報部会

## 〔平成30年度(2018年度)活動報告〕

### 1. がん教育の推進

- 各市町がん検診担当課から各市町教育委員会への働きかけ
- 小中学校でのがん出前講座や研修会への講師派遣 等

#### 各市町の具体的な取り組み

豊中市	<ul style="list-style-type: none"><li>● 市立中学校3年生へ出前授業を実施(2校)</li><li>● 今年度は初の試みとして、市立小学校に出前授業を実施(1校)</li><li>● 大阪府の事業活用により、市立中学校において「がん教育」を実施(1校)</li></ul>
箕面市	<ul style="list-style-type: none"><li>● 昨年度のアンケートで「外部から講師を派遣してもらい、がん教育を行う余裕がない。」という回答が多かったため、平成30年度は講師の派遣なし</li></ul>
池田市	<ul style="list-style-type: none"><li>● 実施にむけて小学校への働きかけを実施</li><li>● 市立中学校(1校)に「がん教育」の依頼をしていたが、生徒の家族にがんの方が居るとの理由で学校側の判断により実施に繋がらなかった。</li></ul>
吹田市	<ul style="list-style-type: none"><li>● 吹田市教育委員会では、中学2年生に対して薬物やたばこ、アルコール等と同様に、保健体育の中で教員ががん教育の授業を行う予定</li></ul>
豊能町	<ul style="list-style-type: none"><li>● 未実施</li></ul>
能勢町	<ul style="list-style-type: none"><li>● 学校への働きかけを実施</li><li>● 未実施</li></ul>

# がん検診情報部会

## 〔平成30年度(2018年度)活動報告〕

### 2. .がん医療公開講座の企画

豊能医療圏がん医療ネットワーク協議会主催「がん医療公開講座」に係るワーキンググループを立ち上げ、企画・検討し調整を実施

企画内容	
テーマ	大腸がん
講演	がん経験者による体験談 「がん」という病との向き合い方、医療との付き合い方、自分らしく生活するためのモチベーションや仕事・家庭などのあり方など
パネルディスカッション	検診、早期発見、豊能圏域の現状、患者会の活動など
費用・財源計画	府補助事業「地域連携強化事業」
その他	日時 2020年2月 場所 豊中市内の会場 対象 地域住民 300名

# がん検診情報部会

## 〔平成31年度(2019年度)活動目標〕

### 1. がん教育の推進

- 児童・生徒向けがん教育出前講座への継続的な講師派遣
- 各市教育委員会との連携によるがん教育事業の実施に取り組み、効果的ながん教育を推進

### 2. がん医療公開講座の実施

- 効果的な実施に向けてワーキングを立ち上げ、計画的に作業(補助金申請、演者との調整、周知など)を進め、部会目標を推進

# がん地域連携部会

## 〔平成30年度(2018年度)活動報告〕

### 1. リハビリテーションチーム

各拠点病院の実績データ(疾患の部位別・患者の年齢別・リハビリの期間等)を調査・収集し、情報を共有

### 2. がん相談支援センターチーム

各拠点病院のがん相談支援センターの業務範囲や内容について、現状を把握するため調査・収集し、情報を共有

# がん地域連携部会

## 〔平成31年度(2019年度)活動目標〕

### 1. がんリハビリテーションチーム

平成30年度(2018年度)に収集した各拠点病院の状況や特徴のデータをもとに、課題や問題点について意見交換と連携を推進

### 2. がん相談支援センターチーム

「就労支援」をテーマに各拠点病院での対応策や相互の連携を検討

# がん研究部会

## (1) 小児がん対策

- **小児がん診療に関わる医療機関ネットワークの構築**

阪大病院は、大阪府内のがん診療連携拠点病院等と連携し、小児がん患者の診療に取り組んでいる。特に骨軟部腫瘍、脳腫瘍、網膜芽細胞腫、肝移植の必要な肝芽腫については大阪府内から患者が集積しており、小児科、小児外科、眼科、整形外科、脳神経外科が連携して治療にあたっている。また、近畿若手小児血液クラブを組織し、若手医師の教育も行なっている。AYA世代のがんに対しても力をいれており妊孕性についても産婦人科と連携している。長期フォローアップ外来研修受講看護師が誕生し、がんになっても一生を通じて質の高い生活を送ることができるように多職種による支援を行っている。

## (2) 骨髄移植および臍帯血移植の推進

- **骨髄移植および臍帯血移植の現状**

同種造血幹細胞移植の件数は年間27件（平成30年度）である。移植の幹細胞ソースとしては血縁、骨髄バンク、臍帯血のすべてに対応しており、骨髄バンク及び臍帯血移植が2/3を占めている。

# がん研究部会

## (3) がん研究の推進

- **多施設臨床研究の推進（特定非営利活動法人SCCRE（エスキューール））**

がん臨床研究を実施する7つの研究会（消化器がん、乳がん、肺がん、泌尿器系がん、骨髄腫等）を支援している。

- **臨床研究中核病院**

平成27年8月に臨床研究中核病院の認定を受けた。質の高い臨床研究支援のために更に未来医療開発部を整備する。

- **がんゲノム医療中核拠点病院**

- ・ 「がんゲノム医療を総括する部門の設置」として、がんゲノム医療センターを設置し、平成30年2月にがんゲノム医療中核拠点病院の指定を受けた。
- ・ 平成30年9月に品質保証遺伝子検査室が米国病理医協会の認定（CAP-LAP）を取得した。
- ・ 平成30年10月より先進医療B「マルチプレックス遺伝子パネル検査」を実施している。
- ・ 平成30年度は、13のがんゲノム医療連携病院（大阪府下8病院）と協力してゲノム医療の社会実装を推進している。

# がん研究部会

## (4) 先進医療の推進

### ● 以下の先進医療を現在実施中である

1. パクリタキセル静脈内投与及びカルボプラチン腹腔内投与の併用療法（先進医療B）
2. 周術期カルペリチド静脈内投与による再発抑制療法（先進医療B）
3. 11C標識メチオニンを用いたポジトロン断層撮影による再発の診断 頭頸部腫瘍（先進医療B）
4. 放射線照射前に大量メトトレキサート療法を行った後のテモゾロミド内服投与及び放射線治療の併用療法並びにテモゾロミド内服投与の維持療法（先進医療B）
5. 11C標識メチオニンを用いたポジトロン断層撮影による診断 初発の神経膠腫が疑われるもの（先進医療B）
6. 術前のS-1内服投与、シスプラチン静脈内投与及びトラスツズマブ静脈内投与の併用療法（先進医療B）
7. テモゾロミド用量強化療法 初発時の初期治療後に再発又は増悪した膠芽腫（先進医療B）
8. 腹腔鏡下傍大動脈リンパ節郭清術（先進医療A）
9. マルチプレックス遺伝子パネル検査 難治性固形がん（先進医療B）

## (5) 人材育成

### ● がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン（大学院）

46名が在学中（薬物療法、放射線治療、緩和医療、外科治療、放射線物理、細胞診、がん看護等）